

ふるさと希望指数(LHI:Local Hope Index)

研究報告書

【概要版】

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク
ふるさと希望指数(LHI)研究プロジェクト

平成24年3月

リーダー県：福井県

青森県、山形県、石川県、山梨県、長野県、
奈良県、鳥取県、島根県、高知県、熊本県

ふるさと希望指数(LHI)の概要

研究の趣旨・目的

- 活力ある未来を実現するためには、人々が、将来に「希望」を持ち、具体的な「行動」を起こすことが必要
- 人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを明らかにし、「希望」を見える化
- 「希望」を政策課題とし、人々の「希望」を高める要素に働き掛けを行う政策の見直し、新たな政策の立案・提案につなげる

ふるさと希望指数(LHI)とは

- 現在の暮らしに対する満足感などから得られる「幸福」だけでなく、より良い未来を実現するため、人々の「希望」につながり、「行動」によって達成することができる要素を抽出したもの

※ 統計数値などにより数値化したものではない

ふるさと希望指数(LHI)のポイント

① 未来志向

現在だけでなく、将来や次の世代が良くなることを願う「希望」を持ち、暮らしやすく豊かな未来を自らがつくり上げる

② 「希望」を見える化

人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを明らかにし、人々の「希望」につながる要素を抽出

③ 行動重視

行政が政策により個人の「行動」をバックアップし、「希望」につながる要素を達成することで、人々の「希望」が向上

ふるさと希望指数(LHI)の研究方法

「ふるさと希望指数(LHI)」の研究は、東京大学社会科学研究所の知見を踏まえ、独自に大規模なアンケート調査を実施し、人々の「希望」につながる要素を抽出、参考統計によりデータ化する方法で進めた。

① 東京大学社会科学研究所の「希望学プロジェクト」の知見の活用

- 東京大学社会科学研究所の「希望学プロジェクト」が、どのような属性の人が「希望」を持ちやすいかについて研究結果を示していることから、「ふるさと希望指数(LHI)」を構成する分野を選定する際に知見を活用

② 希望の意識調査(アンケート)の実施

- 人々の「希望」がどのような要素から生まれるのかを分析するため、2つの観点から全国規模のアンケート調査を実施
 - ①個人の生活パターン(健康維持活動などの行動の有無)や属性(仕事の有無、収入、家族構成など)と「希望」の有無との相関関係を分析(客観的分析)
 - ②個人の意識(「希望」を持つために重要と考えている要素)を分析(主観的分析)

③ 人々の「希望」につながる要素の抽出

- アンケートの結果から、「希望」があると答えた人の生活のパターンや個人の意識の両面から分析し、**人々の「希望」につながり、「行動」によって達成できる20の要素を抽出**

④ 参考統計によるデータ化

- 人々の「希望」につながる20の要素の内容を客観的に示していると考えられる統計指標を、既存統計の中から参考統計として選定
- 参考統計を分析し、「現状」および「変化率」の複眼的視点からデータ化

ふるさと希望指数(LHI)の構成

ふるさと希望指数(LHI)を構成する分野と要素

仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 就業している
- 正規の職員・従業員として働いている
- 世帯当たりの収入が高い
- 仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている



家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 結婚して新しい家族を持つ
- 子どもを持つ
- 家族でコミュニケーションがとれている
- 夫婦のワークライフバランスがとれている



健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけることが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 病気やけがなどがなく健康である
- 健康に長生きする
- 健康の維持に努めている
- 子どもの基礎体力が高く元気である

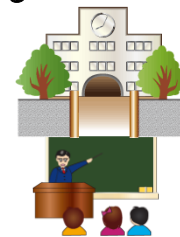


教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 子どもの学力が高い
- 子どもの道徳心や社会性が高い
- 子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している
- 大学等の高等教育機関で学ぶ



地域・交流

地域に魅力(誇り)を感じ、社会貢献活動や地域活動などを通じて、地域や他者とのつながりを持つことが、人々の「希望」につながる

【希望につながる主な要素】

- 社会貢献活動に参加している
- 子どもが地域行事に参加している
- 学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している
- 犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である



ふるさと希望指数(LHI)の構成

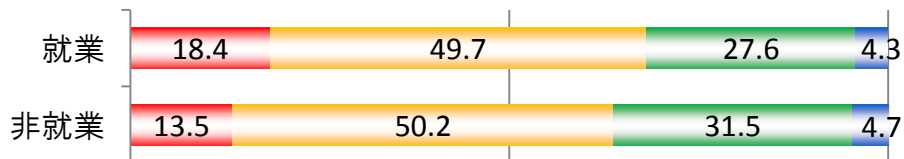
仕事

やりがいのある仕事に就き、一定水準の収入を得ることが、人々の「希望」につながる

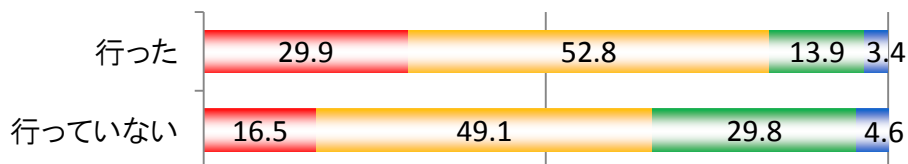
希望につながる主な要素	参考統計
就業している	就業率
正規の職員・従業員として働いている	正規就業者率
世帯当たりの収入が高い	実収入(勤労者1世帯当たり1か月)
仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている	職業訓練・自己啓発実施率

<アンケート結果>

《「希望」と就業との関係》



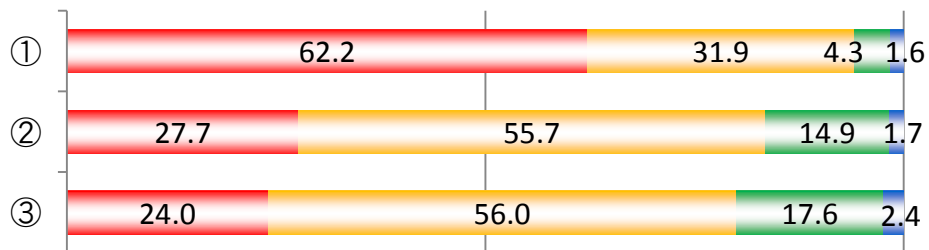
《「希望」とスキルアップ・自己啓発との関係》



■ 非常に重要 ■ ある程度重要 ■ あまりない ■ まったくない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 正規に雇用され、働く環境が安定していること
- ② 高い収入を得ていること
- ③ 職業訓練や自己啓発によりスキルアップすること



■ 重要 ■ どちらかというとき重要
■ どちらかというとき重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の構成

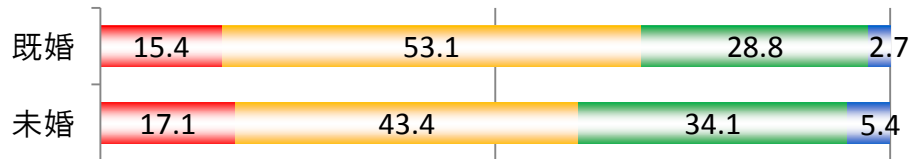
家族

お互いに信頼し、支え合うことのできる家族を持つことが、人々の「希望」につながる

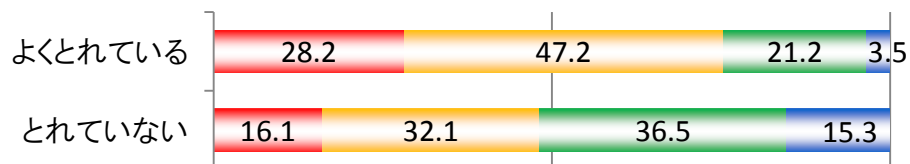
希望につながる主な要素	参考統計
結婚して新しい家族を持つ	結婚率
子どもを持つ	合計特殊出生率
家族でコミュニケーションがとれている	子どもの家族交流率
家庭内のワークバランスがとれている	家庭内ワークバランス率

<アンケート結果>

《「希望」と結婚との関係》



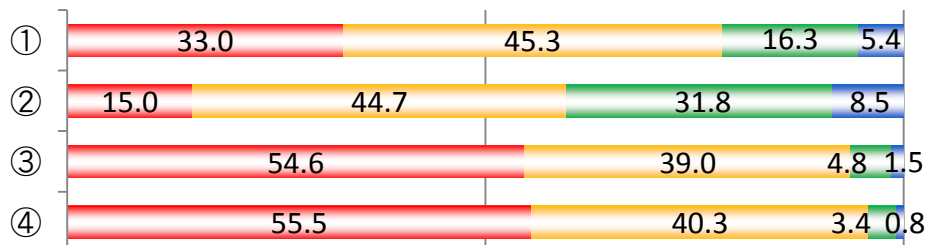
《「希望」と家族間のコミュニケーションとの関係》



■ 非常にある ■ ある程度ある ■ あまりない ■ まったくない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ①結婚して新しい家族を持つこと
- ②多くの子どもや孫を持つこと
- ③家族のコミュニケーションがよくとれていること
- ④家庭と仕事のワークバランスが良いこと



■ 重要 ■ どちらかという重要
■ どちらかという重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の構成

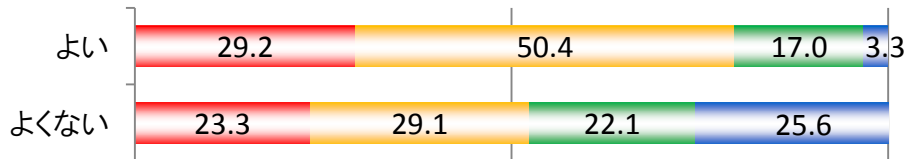
健康

子どもから高齢者まで、健康で元気に暮らしていけることが、人々の「希望」につながる

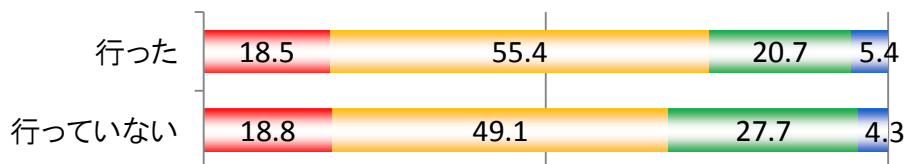
希望につながる主な要素	参考統計
病気やけがなどがなく健康である	健康実感率
健康に長生きする	自立調整健康寿命〔0歳以上〕
健康の維持に努めている	健康診断受診率
子どもの基礎体力が高く元気である	子どもの体力

<アンケート結果>

《「希望」と健康状態との関係》



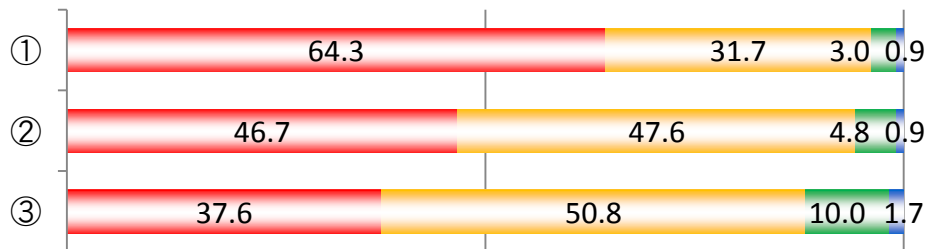
《「希望」と健康維持活動との関係》



■ 非常に重要 ■ ある程度重要 ■ あまりない ■ まったくない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 病気やけががなく、健康に長生きできること
- ② 日頃からの運動や食生活への配慮により、健康を維持すること
- ③ 子どもの頃から基礎体力が高く元気であること



■ 重要 ■ どちらかというとき重要
■ どちらかというとき重要でない ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の構成

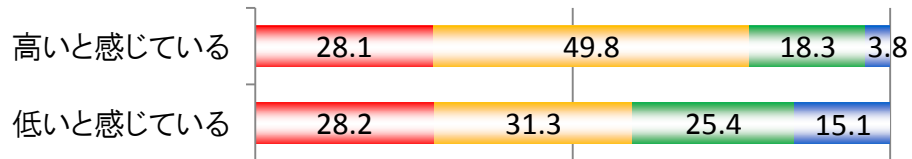
教育

学力や教養、社会性や挑戦力などを身につけ伸ばすことが、人々の「希望」につながる

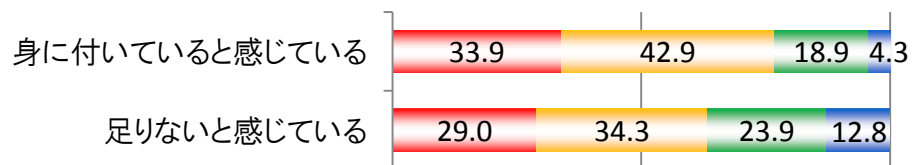
希望につながる主な要素	参考統計
子どもの学力が高い	子どもの学力
子どもの道徳心や社会性が高い	子どもの道徳心・社会性
子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している	子どもの夢・目標・挑戦力
大学等の高等教育機関で学ぶ	大学等進学率

<アンケート結果>

《「希望」と子どもの学力との関係》



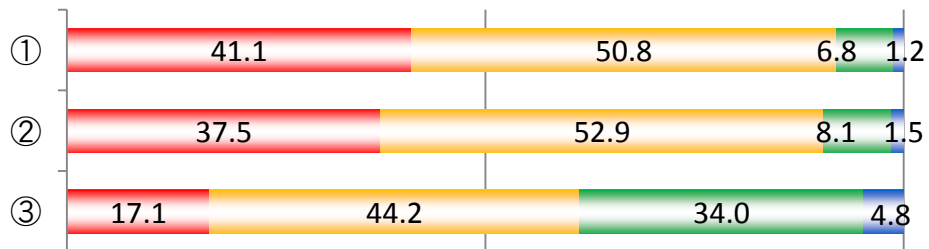
《「希望」と子どもの道徳心や社会性との関係》



■ 非常に重要 ■ 重要 ■ どちらかというとき重要 ■ 重要でない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 地域の子どもたちの学力や道徳心が高いこと
- ② 地域の子どもたちが目標達成のため、積極的に行動していること
- ③ 地域の子どもたちが大学などに進学して学ぶこと



■ 重要 ■ 重要 ■ どちらかというとき重要 ■ 重要でない

ふるさと希望指数(LHI)の構成

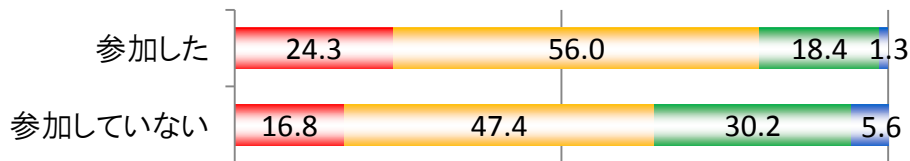
地域・交流

地域に魅力(誇り)を感じ、社会貢献活動や地域活動を通じて、地域や他者とのつながりを持つことが、人々の「希望」につながる

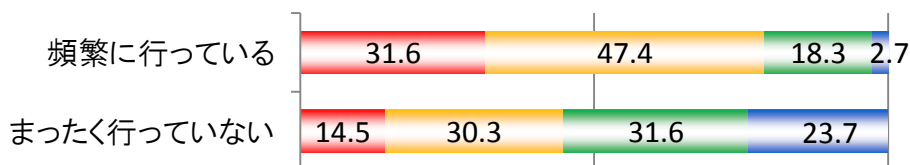
希望につながる主な要素	参考統計
社会貢献活動に参加している	ボランティア活動の年間行動者率〔15歳以上〕
子どもが地域行事に参加している	子どもの地域行事への参加率
学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している	交際時間〔15歳以上〕
犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である	刑法犯認知件数および交通事故発生件数

<アンケート結果>

《「希望」と地域貢献活動との関係》



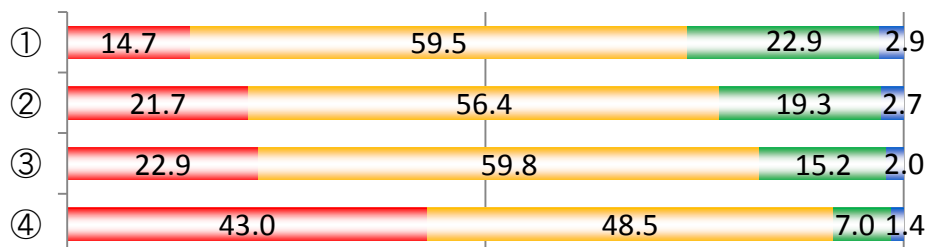
《「希望」と職場以外で信頼できる友人や知人との交際頻度との関係》



■ 非常に重要 ■ 重要程度ある ■ あまりない ■ まったくない

《人々が「希望」を持つために重要と考えていること》

- ① 社会貢献活動などに参加すること
- ② 子どもの頃から地域行事に参加すること
- ③ 学校や職場以外の人との交流を多く行うこと
- ④ 犯罪や交通事故が少ない地域で暮らすこと



■ 重要 ■ どちらかという重要 ■ どちらかという重要でない ■ 重要でない

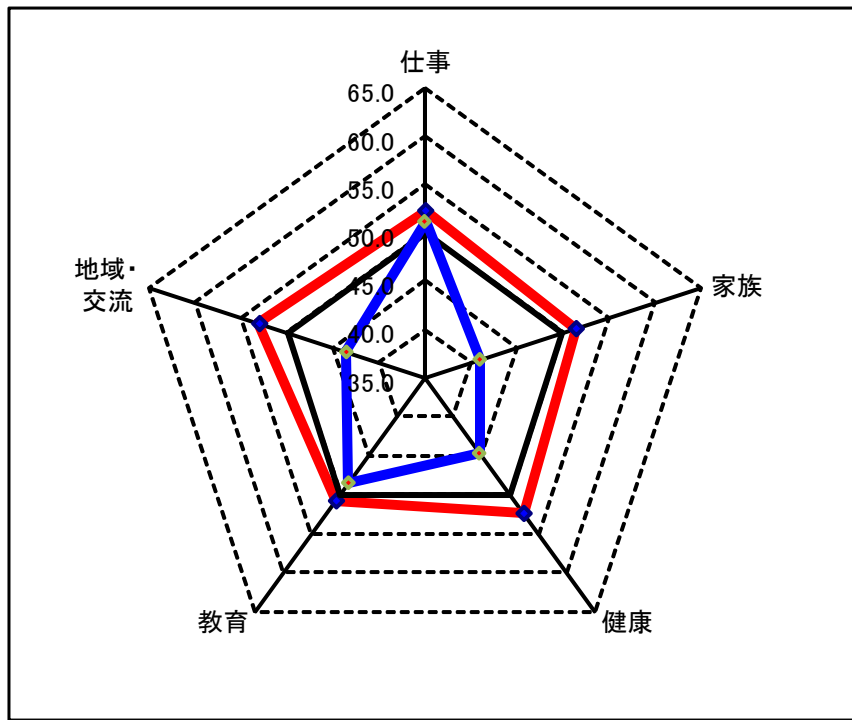
ふるさと希望指数(LHI)の構成要素と参考統計

分野	希望につながる主な要素	参考統計
仕事	就業している	就業率 《労働力調査(総務省)》から独自集計
	正規の職員・従業員として働いている	正規就業者率 《就業構造基本調査(総務省)》
	世帯当たりの収入が高い	実収入(勤労者1世帯当たり1か月) 《家計調査(総務省)》
	仕事のためのスキルアップや自己啓発を行っている	職業訓練・自己啓発実施率 《就業構造基本調査(総務省)》
家族	結婚して新しい家族を持つ	結婚率 《国勢調査(総務省)を基にした統計資料(国立社会保障・人口問題研究所)》
	子どもを持つ	合計特殊出生率 《人口動態調査(厚生労働省)》
	家族でコミュニケーションがとれている	子どもの家族交流率 《全国学力・学習状況調査等(文部科学省)》から独自集計
	夫婦のワークライフバランスがとれている	家庭内ワークライフバランス率 《国勢調査(総務省)、社会生活基本調査(総務省)》から独自集計
健康	病気やけがなどがなく健康である	健康実感率 《国民生活基礎調査(厚生労働省)》から独自集計
	健康に長生きする	自立調整健康寿命[0歳以上] 《独立行政法人福祉医療機構算定》
	健康の維持に努めている	健康診断受診率 《国民生活基礎調査(厚生労働省)》
	子どもの基礎体力が高く元気である	子どもの体力 《全国体力・運動能力、運動習慣等調査(文部科学省)》
教育	子どもの学力が高い	子どもの学力 《全国学力・学習状況調査等(文部科学省)》から独自集計
	子どもの道徳心や社会性が高い	子どもの道徳心・社会性 《全国学力・学習状況調査等(文部科学省)》から独自集計
	子どもが夢や目標を持って物事に挑戦している	子どもの夢・目標・挑戦力 《全国学力・学習状況調査等(文部科学省)》から独自集計
	大学等の高等教育機関で学ぶ	大学等進学率 《学校基本調査(文部科学省)》
地域・交流	社会貢献活動に参加している	ボランティア活動の年間行動者率(15歳以上) 《社会生活基本調査(総務省)》
	子どもが地域行事に参加している	子どもの地域行事への参加率 《全国学力・学習状況調査等(文部科学省)》から独自集計
	学校や職場だけでなく、様々な人々と交流している	交際時間(15歳以上) 《社会生活基本調査(総務省)》
	犯罪や交通事故が少なく、安全・安心な地域である	刑法犯認知件数+交通事故発生件数 《犯罪統計(警察庁)、交通事故統計(警察庁)》

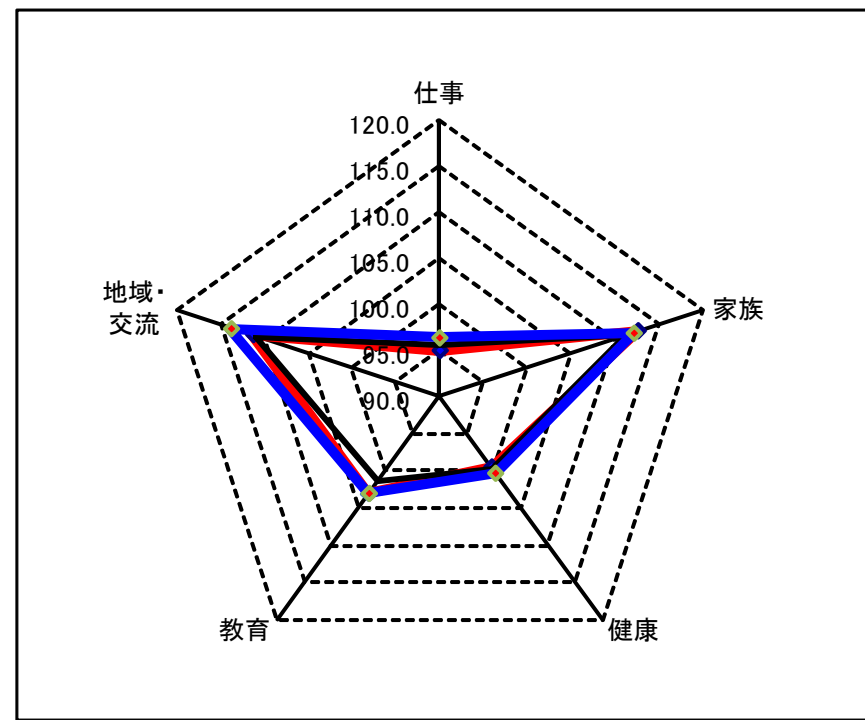
5分野の「現状」と「変化率」を示すレーダーチャート

○ 「現状の水準」と「過去からの向上」という複眼的視点からデータ化

統計数値(偏差値)



変化率(基準年を100として表示) ※基準年は原則3年前



	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
地方	52.3	51.5	52.4	50.8	53.1
都市	51.2	41.1	44.7	48.5	43.6
全国平均	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

	仕事	家族	健康	教育	地域・交流
地方	94.9	112.6	99.5	103.1	111.3
都市	96.4	112.2	100.3	103.0	113.8
全国平均	95.6	111.2	99.8	101.3	111.0

希望の政策バンク ～「希望」を高める政策の学び合い～

- 人々の「希望」を高める政策づくりを学び合うため、各県の先進政策をとりまとめた「希望の政策バンク」を作成

<イメージ>

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

